麻酔科後期臨床研修プログラム

責任者：安藤富男

■　概要

麻酔科の診療は手術麻酔、救急・集中治療、疼痛・緩和医療という大きな柱がありますが、どの領域にも必要な基礎的な知識、技能、判断能力、経験を身に付けることが後期研修の主な目的です。具体的には、気道、呼吸、循環系を中心とした全身管理および疼痛コントロールを的確に実施できるようになり、麻酔科標榜医および麻酔科認定医が取得できます。研修終了時点で多くの症例の手術麻酔を自力で担当できる麻酔医になると同時に、次のステップである麻酔科専門医、ペインクリニック専門医、学位取得などに進むための基礎を固めることが目標となります。

■　当科の特徴

心臓血管外科、新生児外科を除くほぼすべての種類の手術症例が豊富にあり、効率よく様々な種類の麻酔の経験を積むことができます。スタッフ 6 名（定員 7 名）中 4 名が多くの指導経験を要する麻酔科指導医であり、2 名は麻酔科専門医であって、指導医層が質・量ともに豊富で、他施設に比べても手厚い指導体制をとっています。マンツーマンで基本手技、考え方を丁寧に指導し、論文抄読、学会発表、臨床研究の指導にも力を入れています。心臓血管麻酔、小児麻酔については協力専門施設での研修を行う体制をとっています。中規模の施設のため、麻酔科内は勿論、他科や他部門とのコミュニケーションが良好であり、大学病院と一般病院の両方の利点を持った環境で研修できます。

■　カリキュラム

- ✧　1年目

  手術室での臨床麻酔を研修し、後半の 3-6 ヶ月間は外来でのペインクリニックの研修が加わります。術前評価、麻酔管理、疼痛管理の基本手技、考え方を習得します。

- ✧　2 年目

  小児麻酔、心臓血管外科麻酔の専門施設へ週一日の研修にでることを勧めています。希望によりペインクリニック専門施設での研修も可能です。自立した麻酔医への成長を強力にサポートします。

- ✧　3年目以降

  専門医、学位取得を目標として、交流のある他施設も経験しながらレベルアップを図ります。国内外の留学についてもサポートします。

- ✧　協力医療機関

神奈川県立こども医療センター麻酔科、横浜市立大学麻酔科、埼玉医科大学国際医療センター麻酔科、国立病院機構横浜医療センター救急・集中治療部門、緩和会横浜クリニック(旧 横浜痛みのクリニック) など

■ 診療内容、診療体制

手術件数：年間 3000-3200 件
麻酔管理症例：年間約 2000 件
ペインクリニック：年間延べ 1500 症例余り、週５日診療（全日１、半日４）
常勤医：6 名
臨床研修指導医：１名
麻酔科指導医：4 名
麻酔科専門医：２名
ペインクリニック専門医：1 名

■ 施設認定

麻酔科認定病院、ペインクリニック学会指定研修施設

■ 後期研修によって取得可能な資格

麻酔科標榜医、麻酔科認定医 （書類審査で取得できる）

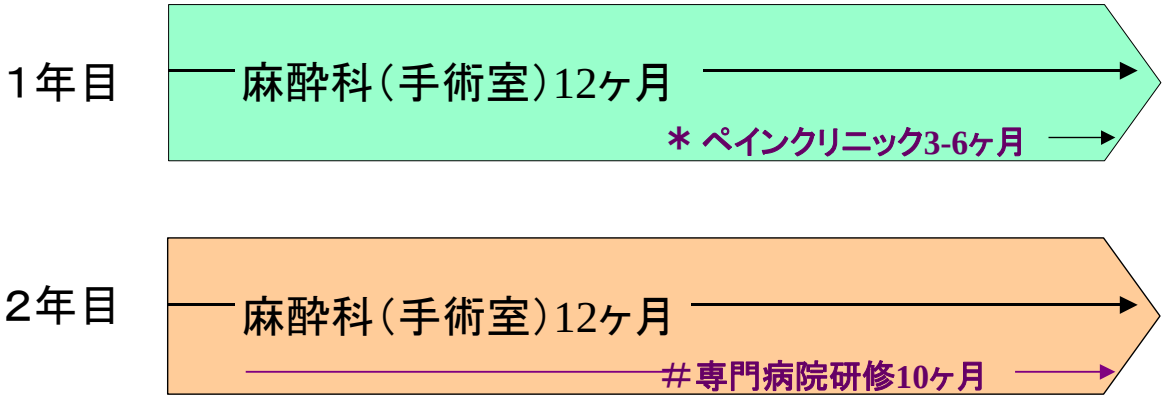
■ 将来、受験資格が得られる資格

麻酔科専門医、JB-POT（周術期経食道エコー認定試験）、集中治療専門医、ペインクリニック専門医、緩和医療学会専門医など
医学博士

■ リンク、問い合わせ

当麻酔科ホームページ：http://mizomasui.web.fc2.com/
e-mail：mhanesth@med.teikyo-u.ac.jp

コースモデル



＊：週一日ペインクリニック外来で研修
＃：週一日専門病院で研修